

第 1 回 総務厚生学教委員会

令和 7 年 1 月 2 1 日 (火)
第一委員会室

開 会 12 時 57 分
閉 会 13 時 20 分

午後 12時57分 開会

○委員長（柴田幸一郎君）

皆さん、こんにちは。それでは、ただいまより、第1回総務厚生学教委員会を始めさせていただきます。よろしくお願いします。

1. 議長諮問への答申について

(1) 主権者教育について、各委員より「どのように進めたいか」の意見をいただく

○1 番（犬塚利彦君）

高校での出前講座が開催出来てよかった広報広聴委員会は忙しいので、主権者教育は当委員会が中心になってやるのがいいと考える。

○2 番（成瀬徳夫郎君）

今回、広報広聴委員会が頭となって高校生との意見交換会をよくやってくれた。広報広聴委員会が忙しいのであれば、総務厚生学教委員会でやるのも1案だが、全議員で方向性を決めてはどうか。ただ、毎回出前講座だとマンネリ化してしまう。新しい方法の開催ができる陽方向性を持たせたい。

○3 番（熊谷隆男君）

各委員から意見を聴いているが、まずはこの段階では意見を聴いてその後のまとめは委員長一任でという取り付けをすべきである。議長諮問は、主権者教育への協力、支援なので、今回の高校生との意見交換会では協力してできたが答申内容と考える。今思えば、今年不登校で瑞中へ行ったが、不登校のテーマを研究して先生から話を聞いてきたが、その際に主権者教育についても合わせて聴いてきても良かったと思っている。

○4 番（柴田増三君）

どのような取り組みが出来たかといえば、広報広聴委員会を中心に行う中で、協力してできたと思う。それが答申と考える。

○5 番（樋田翔太君）

議会全体で主権者教育に取り組めた。今後については、全議員で協議すべきではないか。

○6 番（小木曾光佐子君）

全国市議会議長会での話では、主権者教育は教育委員会と選挙管理委員会ですべきとの話があった。高校でやったが、中学で公民を習うので中学生がいいと思う。主権者教育についての協議をこの委員会でやってもいいが、どこの委員会が主体的にやるかは、やはり広報広聴委員

会と考える。

○7番（辻正之君）

主権者教育をどのように取り組むかの検討はいいが、総務厚生学教委員会が主体となることはまだまだいろいろ議論していく必要が有る。今後進めていく中で、議会全体でどう取り組んでいくべきか検討すべきである。

○委員長（柴田幸一郎君）

皆さんの共通の意見のまとめると

- ① 高校生との意見交換会をやってよかった
- ② 高校生との意見交換会に本委員会で十分に協力できた
- ③ 主権者教育の取り組み主体については、本委員会で取り組むべき、広報広聴委員会で取り組むべき、全員で協議してもう一度考えるべきという意見あり

答申書にはこれらの意見をまとめて委員長一任で書くこととしますのでよろしくお願いします。

○委員長（柴田幸一郎君）

- (2) 議長諮問に対する検討の経緯及び顛末を音読

・委員会活動について

- (3) 答申書案に対する意見 → 特になし

1月29日付けで、答申書として答申する旨を伝える。

2. 課題報告書（引継事項）について

○委員長（柴田幸一郎君）

- (1) 課題報告書（引継事項）の説明

- ①高齢者の生きがいづくりと社会参加の増加の調査研究
- ②不登校児童生徒の社会的自立の調査研究

- (2) 引継事項に対する質疑、意見

○5番（樋田翔太君）

不登校児童生徒と、不登校児童数、生徒数の言い方がバラバラであるが正しい標記にしたほうがよい。

○委員長（柴田幸一郎君）

確認して修正しておきます。

○5番（樋田翔太君）

引継事項1の前段で、「十分な議論が進まなかった」まで書かなくてもいいのではないかな。課題事項が整理できた等まででよいのではないのでしょうか。

○委員長（柴田幸一郎君）

ありがとうございます。修正します。その他はありませんか？

〔 「なし」 の声 〕

○委員長（柴田幸一郎君）

1年間ありがとうございました。皆様から多くの声をいただいて本委員会は活発な活動ができたと思っています。次期委員長がこの中からなられる方がいることを私としては望んでいます。皆さんと一緒に楽しく議論できたことを感謝申し上げます。それでは、令和7年第1回総務厚生学教委員会を終了します。お疲れさまでした。

13時20分 閉会